



様式1(主な取組)

活動指標名	文化資源を活用したビジネスの支援				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	16件	19件	21件	89	16件	100.0%	145,288	順調	<p>活動概要</p> <p>県内文化関係団体を対象に、文化芸術活動の持続化に向けた課題解決の取組、魅力的な創造発信を行う取組、文化芸術資源を活用して地域の諸課題の解決を図る取組を公募し、89件採択、補助金を交付した。</p> <p>採択された取組について、補助を行うとともに文化の専門人材によるハンズオン支援を行った。</p> <p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>令和2年度においては、事業公募、審査の結果、採択件数は89件となり、活動指標の計画値16件を上回ったことから進捗状況は順調となった。</p> <p>また、本事業を実施することで、県内団体による文化活動の実施件数や享受者の増加、他分野との連携促進などが図られ、文化芸術活動を支える環境の形成が推進された。</p>
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和2年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度に引き続き本事業による支援事例をweb上で紹介するほか、支援事例集の配布を通じて事業趣旨の周知徹底をはかる。</li> <li>離島を含み県内各地に、地域の多様な主体（企業、教育機関、医療・福祉機関、NPO等）向けに、文化芸術資源を活用する取組への意欲喚起に向けたセミナー等を開催する。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>支援事例集を文化振興会のホームページで公開した。</li> <li>離島を含め事業の説明会等を行い、事業の周知、応募の掘り起こしを図った。</li> </ul>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

- ・事業の周知を県内の離島を含め、広い範囲に引き続き図る必要がある。

##### ○外部環境の変化

- ・文化芸術振興基本法の改正により平成29年6月施行となった文化芸術基本法では、文化芸術に関する施策の推進に当たっては、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の各関連分野における施策との有機的な連携が図られるよう配慮されなければならないこととされている。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・事業趣旨の周知徹底や、新たな応募事業者の掘り起しにつながる取組が求められる。
- ・地域の多様な主体に対して、文化芸術資源を活用する取組についての認知度や関心の向上を図る必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

- ・令和2年度に引き続き本事業による支援事例をweb上で紹介するほか、支援事例集の配布を通じて、事業趣旨の周知徹底を図る。
- ・離島を含み、県内各地に、地域の多様な主体(企業、教育機関、医療・福祉機関、NPO等)向けに、文化芸術資源を活用する取組への意欲喚起に向けたセミナー等を開催する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(6)-ア	沖縄のソフトパワーを活用した新事業・新産業の創出	施策	② スポーツ関連産業の振興
			施策の小項目名	○スポーツ関連ビジネスの創出支援
主な取組	スポーツ関連産業振興戦略推進事業			
対応する主な課題	②スポーツ関連産業については、観光、健康、ゲーム、ファッション等といった周辺産業と融合が進みポテンシャルの高い産業として全国的にも期待が高まっている分野である。 ③沖縄県は温暖な気候のもと年中スポーツができる環境に恵まれ、プロ野球のキャンプやスポーツイベントが盛んであるものの、スポーツそのものを生かしたビジネスは少ない状況にある。今後は、スポーツを有望な産業資源として捉え、既存産業との連携・融合により関連ビジネスを多数創出していく必要がある。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
スポーツ関連産業の振興を目的とした戦略の構築を図るため、スポーツ関連産業等の実態の把握・分析及び方向性の検討等を踏まえスポーツ関連ビジネスモスポーツの産業化を推進する。		4件				
		支援件数				
実施主体	県	スポーツ産業定着化の支援				
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【098-866-2708】	関連人材育成				
						フォローアップ調査

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名	スポーツ関連産業振興戦略推進事業						R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
	主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額		主な財源
一括交付金(ソフト)	補助	66,468	-	-	-	-	-	20,000	一括交付金(ソフト)	OR2年度：－ OR3年度： スポーツコンベンション受入付加価値構築支援事業としてスポーツコンベンションの誘致、定着を推進するとともにスポーツ関連産業の振興を促進する。

様式1(主な取組)

予算事業名							R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
スポーツイベント開催支援事業(オンライン等スポーツイベント開催支援)							当初予算額	主な財源	OR2年度: コロナ禍における新たな形態でのスポーツイベント開催を支援するため、オンライン等スポーツイベント開催に対して7件の支援を行った。 OR3年度:	
主な財源	実施方法	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算見込額				
一括交付金(ソフト)	補助	-	-	-	-	25,801	-	-		
活動指標名	支援件数				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	8件	7件	0件	0件	7件	4件	100.0%	25,801	順調	令和2年度はコロナ禍における新たな形態でのスポーツイベント開催を支援するため、オンライン等スポーツイベント開催に対して7件の支援を行った。
活動指標名	スポーツ産業定着化の支援				R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	-	-	-	-	国等と連携した支援	国等と連携した支援	100.0%			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			スポーツ関連産業ビジネスモデル事業における支援は平成29年度をもって完了した。 令和2年度はコロナ禍における新たな形態でのスポーツイベント開催を支援するため、オンライン等スポーツイベント開催に対して7件の支援を行い、新たなビジネスモデル構築につなげることができた。

## 様式1(主な取組)

(2)これまでの改善案の反映状況	
令和2年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"><li>引き続き、過去に支援したモデル事業について動向を確認していくとともに、国、市町村、大学、関連事業者等と連携し、新たなスポーツ関連産業の創出を推進する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>国、市町村、大学、関連事業者へのヒアリング等を行う中で、スポーツコンベンションの誘致、定着を推進することと、スポーツ関連産業の振興の親和性が高いことが確認された。</li><li>令和2年度は新たな形態でのスポーツイベント開催の推進を図るため、オンライン等を活用したスポーツイベントを支援するとともに、令和3年度はスポーツコンベンション受入付加価値構築を実証する事業者への支援を行う予定である。</li></ul>



### 3 取組の検証 (Check)

(1)推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)	
<p>○内部要因</p> <ul style="list-style-type: none"><li>プロスポーツキャンプ誘致等、スポーツコンベンション等が順調に推移し、スポーツを通じた観光誘客の平準化が図られるようになった。</li><li>県内スポーツ施設等のITサービス開発等、他産業との連携が期待できる。</li><li>スポーツ関連産業の振興における市場規模や潜在性を認識するとともに沖縄の優位性等、産業化の可能性について整理をする必要がある。</li></ul>	<p>○外部環境の変化</p> <ul style="list-style-type: none"><li>東京2020大会等大規模な国際スポーツ大会開催に向け、スポーツへの意識が高まる中、全国的にスポーツ関連産業への関心も大きくなっている。</li><li>スポーツツーリズム、スポーツコンベンションが順調に推移する中、スポーツをフックとしたサービス開発に取り組む地元企業が出始めている。</li><li>産業クラスターを契機として、スポーツビジネスに参入する事業者やアリーナ・スタジアムを核としたまちづくりに取り組む市町村が出始めている。</li></ul>
(2)改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)	
<ul style="list-style-type: none"><li>県が掲げる「世界に開かれたスポーツアイランド沖縄の形成」のため、引き続きスポーツコンベンションの推進(誘致、定着)を図るとともに、アリーナ・スタジアムを各核としたまちづくりなど、大きな市場規模をもつスポーツ関連産業の振興を推進する必要がある。</li></ul>	



### 4 取組の改善案 (Action)

<ul style="list-style-type: none"><li>国、市町村、大学、関連事業者等と連携し、スポーツコンベンションの推進、アリーナ・スタジアムを核としたまちづくりなどに紐づくスポーツ関連産業の創出、振興を図る。</li></ul>
---



様式1(主な取組)

活動指標名	スポーツツーリズムモデル事業数				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	6件	6件	4件	5件	15件	4件	100.0%	85,399	順調	<p>活動概要</p> <p>スポーツを通じた観光誘客を推進するため、県内におけるスポーツイベントの創出を図り、定着化、自走化に向け6件の補助対象事業者に対し、補助を行った。</p> <p>また、コロナの影響により、国際スポーツ大会を断念し、オンライン等スポーツイベント等開催支援と感染症対策支援を今年度限りで支援した。</p> <p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>新規のスポーツイベントには補助率を高く設定し、2年目以降のスポーツイベントは補助率を下げるなど、スポーツイベントの定着化を図られるよう、支援枠を設定しており、モデル事業数が計画値を上回る6事業となったため順調とした。</p>
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和2年度 of 取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>採択事業者に対し、安定的な収入の獲得方法等、アドバイザーによる定着化・自走化を目指した定期的な支援を行う。</li> <li>スポーツイベント情報を多く扱うwebサイト等を活用して、イベント情報の発信を支援する。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>アドバイザーによる面談及びメール等での支援を定期的に行った。</li> <li>スポーツイベント情報が集まるwebサイトやプレスリリース会社を活用し、イベント情報の発信を行った。</li> </ul>				





## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

- ・平成24年度から令和元年度に支援したイベントのうち、翌年自走化したイベントは34.8%である。
- ・創出したスポーツイベントの定着・自走化を図るためには、安定的な収入や執行体制が必要である。

##### ○外部環境の変化

- ・国際情勢や感染症等に起因する旅行控えやスポーツイベントの延期・中止等により、入域観光客数に影響が出ている。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・引き続き、イベントに精通したアドバイザーによる事業者支援を行う必要がある。
- ・国際情勢や感染症等に起因する入域観光客数やイベント等の参加者数の減に関し、対応する必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

- ・採択事業者に対し、安定的な収入の獲得方法等、アドバイザーによる定着化・自走化を目指した定期的な支援を行う。
- ・スポーツイベント情報を多く扱うwebサイト等を活用して、イベント情報の発信を支援する。



様式1(主な取組)

活動指標名	スポーツ観光のプロモーション				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
				プロモーションの実施	プロモーションの実施		100.0%	54,682	順調	活動概要 沖縄の年間を通じて温暖な気候とスポーツ資源を活用したスポーツツーリズムの普及・定着及び観光誘客を促進するため、web、メディア、スポーツチームを活用した誘客プロモーションを行うとともに、サイクリングイベントにおけるブース出展等を実施した。
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和2年度の取組改善案								反映状況		
・FC琉球や琉球アスティーダなど、盛り上がりを見せている県内プロスポーツチームを活用した観光誘客及び県民のスポーツに関する気運醸成のためのプロモーションを機を逸することなく効果的に実施する。								・琉球コラソン、琉球ゴールデンキングスを活用したプロモーションを実施するとともに、沖縄アリーナの供用開始に合わせた沖縄への誘客PRを実施した。		



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・世界に開かれたスポーツアイランド沖縄の形成に向け、沖縄へのスポーツ旅の誘客を増加・定着させるためには、地の利だけではない、沖縄の優位性・独自性を活かしたPRが必要である。

##### ○外部環境の変化

・新型コロナウイルス感染拡大による、マラソン大会、サイクリングイベント等のスポーツイベントの延期によりスポーツを目的とした入域観光客にも影響が生じている。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・安全・安心な島のPRとともに、沖縄においてコロナ禍でも楽しめるスポーツの魅力を発信する必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

・スポーツイベントだけでなく、沖縄において少人数でも楽しめるランニング、サイクリング、スポーツアクティビティの魅力を発信するとともに、関連施設、受入体制の安全面も併せてPRする必要がある。



様式1(主な取組)

活動指標名	プロ野球キャンプ等訪問観光促進の取組				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
		実施	実施	実施	実施	実施	—	100.0%	38,053	順調
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和2年度の取組改善案						反映状況				
<p>・プロ野球沖縄キャンプ攻略ガイドブックや専用WEBサイト等において、バス・モノレール等でのアクセス方法や路線バス周遊パス等の公共交通機関情報を掲載・発信し、プロ野球キャンプを目的とした来訪者の利便性を高める取組を行う。</p>						<p>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、県独自の緊急事態宣言で無観客での実施を要請することとなったため、スポーツ観戦における感染症対策に関する内容に差し替えを行った。</p>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・新型コロナウイルス感染症の拡大が不透明な中、キャンプ受入自治体の経済効果を高める取組が必要である。

##### ○外部環境の変化

・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、プロ野球キャンプが無観客実施の要請が盛り込まれた県独自の緊急事態宣言が発出され、誘客を図ることが難しくなった。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・感染症拡大の影響が不透明な中、受入市町村や球団と連携し感染症対策徹底を図るとともに、来訪意欲につながるプロモーションや来訪者満足度を高める取組が必要。

・また、無観客となった場合でも沖縄キャンプの雰囲気を感じられる取組を講じる必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

・これまで以上に、ガイドブックやポータルサイトやSNS等を活用し、キャンプ情報だけでなく、受入市町村の特産品や観光資源、各地を周遊を促進する交通情報等、域振興に寄与する取組を実施する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(6)-ア	沖縄のソフトパワーを活用した新事業・新産業の創出	施策	② スポーツ関連産業の振興
			施策の小項目名	〇スポーツツーリズムの推進
主な取組	サッカーキャンプ誘致戦略推進事業			
対応する主な課題	③沖縄県は温暖な気候のもと年中スポーツができる環境に恵まれ、プロ野球のキャンプやスポーツイベントが盛んであるものの、スポーツそのものを生かしたビジネスは少ない状況にある。今後は、スポーツを有望な産業資源として捉え、既存産業との連携・融合により関連ビジネスを多数創出していく必要がある。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
サッカーキャンプの誘致を推進し、市町村及びキャンプ実施チーム等との連携強化、キャンプを目的とした観光客の増加及び経済効果の向上・地域活性化を図ることで、サッカーキャンプ地としてのブランド化を図る。		23件 キャンプ 誘致件数	24件	25件	26件	27件
		→				
実施主体	県、市町村		サッカーキャンプ誘致の取組			
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課	【098-866-2708】	受入市町村の創出、県内スポーツターフ管理者の技術向上等			

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名		サッカーキャンプ誘致戦略推進事業					R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
主な財源	実施方法	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR2年度： サッカーキャンプ誘致・誘客に資する取組、トレーニングマッチのコーディネート、経済効果の検証等	
一括交付金(ソフト)	委託	59,553	41,665	35,294	39,897	27,633	27,835	一括交付金(ソフト)	OR3年度： サッカーキャンプ誘致・誘客に資する取組、トレーニングマッチのコーディネート、経済効果の検証等	
予算事業名							R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
主な財源	実施方法	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR2年度：	
									OR3年度：	



様式1(主な取組)

活動指標名	キャンプ誘致件数				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	22件	24件	28件	29件	26件	26件	100.0%	27,633	順調	県外クラブ訪問等の誘致活動を行ったことやキャンプ受入市町村の芝環境を整備したこと等により、キャンプ実施クラブの拡大を図った。
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
										新型コロナウイルス感染症の影響により無観客でのキャンプ実施となったことから、例年実施していたサッカーキャンプのPR活動をとりにやめるとともに、海外クラブの誘致も実施しなかったことで件数は減少した。
活動指標名					R2年度					しかし県外クラブへの誘致活動やキャンプ関係者等と連携し、芝・宿泊・医療環境等を整えたことで、昨年度と同数である20のJリーグクラブがキャンプを実施し、女子や大学生も含めると26チームが沖縄を訪れた。
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和2年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>サッカーキャンプ受入市町村等と連携し、ガイドブックをはじめとする各種情報発信媒体等において、受入市町村の観光資源に係る情報等を効果的に発信することにより、サッカーファンの誘客を促進し、地域振興に寄与する取組を実施する。</li> <li>受入施設を拡大するため、県内各市町村と連携することにより、質の高い芝環境の整備を実施する。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍で無観客でのキャンプ実施となったことから、誘客促進を目的とした取組を実施することができなかった。</li> <li>本部町運動公園陸上競技場の芝生を整備することで、これまで1クラブのみ受入していた同競技場において2クラブを受入することができた。</li> </ul>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

- ・ 離島においては、実践相手 (トレーニングマッチ) の確保が課題となっている。

##### ○外部環境の変化

- ・ Jクラブや海外クラブから沖縄キャンプの実施希望が多くあるが、受入可能なグラウンドが不足している状況である。
- ・ コロナ禍のため海外クラブの誘致や誘客促進を目的とした取組が難しくなっている。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ サッカーキャンプ受入市町村及びクラブと連携し、コロナ禍でも実施できるファンサービスを検討する必要がある。
- ・ キャンプ実施クラブ数を増やすため、受入施設の拡大を図る必要がある。



### 4 取組の改善案 (Action)

- ・ サッカーキャンプ受入市町村やクラブ等と連携し、これまで以上にSNS等の各種情報発信媒体等において、受入市町村の観光資源に係る情報等やクラブのキャンプ情報を効果的に発信することにより、サッカーファンの関心を集め、コロナ後の地域振興に寄与する取組を実施する。
- ・ 受入施設を拡大するため、県内各市町村と連携することにより、質の高い芝環境の整備を実施する。



様式1(主な取組)

活動指標名	歓迎支援件数（沖縄県でキャンプを実施するプロスポーツチーム等に対する地域特産品の贈呈等）				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	47件	41件	44件	36件	32件	45件	71.1%	3,374	やや遅れ	<p>沖縄県でキャンプを実施するプロスポーツチームに対して地域特産品や花束の贈呈等を行ったほか、ウェルカムボードや横断幕を制作するなど、県民を挙げてのスポーツコンベンション受入歓迎の気運醸成を図った。</p>
活動指標名					R2年度					
実績値										
活動指標名					R2年度					
実績値										<p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>歓迎支援件数は、プロサッカーで20件、プロ野球で12件の計32件となり、計画値の45件に対し、約7割の達成率となった。</p> <p>要因としては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による中国・韓国球団の野球キャンプ中止や歓迎セレモニー自粛といった外的要因が挙げられる。</p> <p>次年度も、引き続きプロチームを歓迎するための各種取組を実施し、スポーツコンベンションの気運醸成を図る。</p>
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和2年度 of 取組改善案						反映状況				
<p>・スポーツコンベンション誘致受入の県域的な拡大に向けて、スポーツコミッション沖縄を中心として受入市町村や関係競技団体等と連携し、歓迎式における支援内容等において助言・アドバイスを行うことにより、地域の受入ノウハウのレベルの平準化を図る。</p>						<p>・各地で実施されたキャンプチーム歓迎セレモニーに係る取組の成果や課題点を集約し、受入市町村、関係団体等が参加する連絡協議会において情報共有を図った。</p>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・各市町村が主体となって実施している歓迎セレモニーについて、同じカテゴリーのスポーツチームに対しても、自治体間によって歓迎ムードの創出に違いが生じている。

##### ○外部環境の変化

・歓迎セレモニーについて、各市町村にて新型コロナウイルス感染症の拡大防止を考慮しながら実施を要する状況である。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・受入市町村のスポーツコンベンションに対する歓迎支援の成果や新型コロナウイルス感染症拡大防止等課題を共有化し、支援内容等について検討する必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

・スポーツコンベンション誘致受入の県域的な拡大に向けて、スポーツコミッション沖縄を中心として受入市町村や関係競技団体等と連携し、歓迎セレモニーにおける支援内容や新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮したセレモニー内容等において助言・アドバイスを行うことにより、地域の受入ノウハウのレベルの平準化を図る。



様式1(主な取組)

活動指標名	ウェブサイトでの情報発信				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要		
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B					
	実施	実施	実施	実施	実施	実施	100.0%	0	順調	<p>活動概要</p> <p>沖縄の豊かな自然や食文化等に関する魅力やコンテンツについて観光情報サイトや観光ブランディングサイトなどで情報発信を行った。</p>		
活動指標名					R2年度							<p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p>
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B					<p>沖縄の豊かな自然や食文化、生活スタイル等がウェルネスに結びつくものとして認知されており、観光統計実態調査において、保養や休養は沖縄への来訪目的として重要な役割を果たしている。</p>
活動指標名					R2年度							
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B					
(2)これまでの改善案の反映状況												
令和2年度 of 取組改善案						反映状況						
<p>・令和2年度以降も引き続き、ウェルネス関連事業者等への支援を実施するとともに、情報発信を行う。</p>						<p>・沖縄の豊かな自然や食文化等に関する魅力やコンテンツについて、観光情報サイトや観光ブランディングサイトで情報発信を行った。</p>						



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえ、地域の医療や受け入れ体制に配慮した情報発信が必要

##### ○外部環境の変化

・新型コロナウイルス感染症の拡大による旅行需要や旅行スタイルの変化

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・withコロナにおける観光需要や観光スタイルの変化に対応し、沖縄が提供できる価値や魅力について、ブランドイメージの浸透を図る。

### 4 取組の改善案 (Action)

・沖縄の豊かな自然や食文化等に関する魅力やコンテンツについて、観光情報サイトや観光ブランディングサイトで情報発信を行う。